

国立劇場 国立演芸場 国立能楽堂 国立文楽劇場 伝統芸能情報館
国立劇場おきなわ 新国立劇場 芸術文化振興基金

PICK UP

東京
国立劇場(大劇場)

初代国立劇場さよなら公演

7月歌舞伎鑑賞教室

7月3日(月)～24日(月)(休演日等は中面を参照)

料金 1等席4,500円・2等席3,000円・学生1,800円



初代国立劇場
さよなら公演

好評販売中

解説 歌舞伎のみかた 澤村 宗之助

竹田出雲・三好松洛・並木千柳＝作

双蝶々曲輪日記 一幕

一引窓

八幡の里引窓の場

南与兵衛
後＝南方十次兵衛

中村 芝 翫

女房お早

市川 高麗 蔵

平岡丹平

中村 松 江

三原伝造

坂 東 彦 三 郎

母お幸

中村 梅 花

濡髪長五郎

中村 錦 之 助



通常の歌舞伎鑑賞教室と同様の演目・出演者・料金でお楽しみいただけます。

お勤め帰りにおすすめの公演です。

社会人のための歌舞伎鑑賞教室 7月6日(木)・20日(木)18時30分開演

お子様と一緒に楽しみいただけます。

親子で楽しむ歌舞伎教室 7月16日(日)・20日(木)～24日(月)
11時/14時30分開演

※20日(木)は14時30分開演のみ。

親子料金 親2,500円(1等席)・2,000円(2等席)・子1,500円

※保護者の方とお子さま各1枚以上を組み合わせた特別料金です。

捕らえるべきか、逃がすべきかー

明暗を分けたのは月の光

初代国立劇場で開催する最後の歌舞伎鑑賞教室は、互いを深く想いやる家族のドラマを詩情豊かに描いた不朽の名作を、充実した配役でご覧いただけます。

※公演日程につきましては、本誌中面又は右記

QRコードからウェブサイトをご参照ください。

※本公演の「プログラム」と、歌舞伎の基礎知識を解説した「歌舞伎読本」付きです!

※本公演には竹本の詞章の字幕の表示があります。



日本語



English site



歌舞伎読本

大阪
国立文楽劇場

夏休み文楽特別公演

7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日(火)は休演

料金

【第1部】(均一) 4,800円(子ども18歳以下1,900円)

親子料金:親4,000円、子1,500円

※保護者の方とお子さま各1枚以上を組み合わせた特別料金です。

【第2部】1等 6,500円/ 2等 3,800円

【第3部】1等 5,000円/ 2等 3,800円

好評販売中

第1部【親子劇場】10時30分開演

だいき かみなり太鼓

解説 文楽ってなあに?

さいゆうき

西遊記

閻魔王宮より釜煮の段

第2部【名作劇場】13時30分開演

通し狂言

いもせやまおんなていきん
妹背山婦女庭訓

四段目

井戸替の段・杉酒屋の段・道行恋芋環

饅七使者の段・姫戻りの段・金殿の段

入鹿逐伐の段

第3部【サマーレイトショー】18時30分開演

なつまつりなにわかがみ

夏祭浪花鑑

住吉鳥居前の段・釣船三婦内の段・長町裏の段



ご案内ページはこちら!

東京
国立演芸場

初代国立演芸場さよなら公演

特別企画公演「親子で楽しむ演芸会」

7月30日(日) 11時30分・15時30分開演

料金 【親子割引(親)】2,300円 【一般】3,000円

【親子割引(子)】1,000円 【学生】2,100円

初代国立演芸場
さよなら公演

好評販売中

解説と落語

春風亭 柳枝

時代劇コント

カンカラ

講談

一龍斎 貞友

一 仲入り

奇術

マジックジェミー

落語

三遊亭 遊雀



国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

夏休み親子企画

特設サイトはこちら!



チケットお申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

☎ 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等] (10時～18時)

国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場

☎ 03-5352-9999 (10時～18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ

☎ 098-871-3350 (10時～17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問合せください。 本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。

東京		大阪		東京		沖縄	
国立劇場		国立演芸場		国立文楽劇場		国立劇場おきなわ	
大劇場		小劇場		文楽劇場		大劇場	
7月	1 土	7月	1 土	7月	1 土	7月	1 土
2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日
3 月	3 月	3 月	3 月	3 月	3 月	3 月	3 月
4 火	4 火	4 火	4 火	4 火	4 火	4 火	4 火
5 水	5 水	5 水	5 水	5 水	5 水	5 水	5 水
6 木	6 木	6 木	6 木	6 木	6 木	6 木	6 木
7 金	7 金	7 金	7 金	7 金	7 金	7 金	7 金
8 土	8 土	8 土	8 土	8 土	8 土	8 土	8 土
9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日
10 月	10 月	10 月	10 月	10 月	10 月	10 月	10 月
11 火	11 火	11 火	11 火	11 火	11 火	11 火	11 火
12 水	12 水	12 水	12 水	12 水	12 水	12 水	12 水
13 木	13 木	13 木	13 木	13 木	13 木	13 木	13 木
14 金	14 金	14 金	14 金	14 金	14 金	14 金	14 金
15 土	15 土	15 土	15 土	15 土	15 土	15 土	15 土
16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日
17 月	17 月	17 月	17 月	17 月	17 月	17 月	17 月
18 火	18 火	18 火	18 火	18 火	18 火	18 火	18 火
19 水	19 水	19 水	19 水	19 水	19 水	19 水	19 水
20 木	20 木	20 木	20 木	20 木	20 木	20 木	20 木
21 金	21 金	21 金	21 金	21 金	21 金	21 金	21 金
22 土	22 土	22 土	22 土	22 土	22 土	22 土	22 土
23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日
24 月	24 月	24 月	24 月	24 月	24 月	24 月	24 月
25 火	25 火	25 火	25 火	25 火	25 火	25 火	25 火
26 水	26 水	26 水	26 水	26 水	26 水	26 水	26 水
27 木	27 木	27 木	27 木	27 木	27 木	27 木	27 木
28 金	28 金	28 金	28 金	28 金	28 金	28 金	28 金
29 土	29 土	29 土	29 土	29 土	29 土	29 土	29 土
30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日
31 月	31 月	31 月	31 月	31 月	31 月	31 月	31 月

今月・来月の注目はこちら
PICK UP

国立劇場 初代国立劇場さよなら公演 **親子で楽しむ日本舞踊** 7月28日(金) 11時45分開始 ※1回15分(3回実施) ぶれる はじめての日本舞踊体験! 【公演】13時30分開演 (14時30分終演) 学ぶ **日本舞踊**を知ろう ご案内 若柳薫子 成り立ちと特色/動きのみみつ/「雷船頭」の見どころ 見る 常磐津 雷船頭 船頭 花柳寿太郎 雷 西川扇屋郎 演奏 常磐津仲重太夫・常磐津菊寿郎・藤谷呂英 ほか

【体験】500円(※募集定員に達したため、申し込みを締め切りました。) 【公演】親2,500円/子1,500円、一般3,000円/学生2,100円

好評販売中

国立能楽堂 8月企画公演 8月26日(土) 13時開演 ※観劇の灯りによる【特集・魂魄のゆくえ】 狂言 「八尾」 大蔵 基誠 (大蔵流) 能 「楊貴妃 玉簾」 金井 雄資 (宝生流) 【八尾】河内国八尾の里からやってきた亡者。閻魔大王に無理やり地獄行きにされそうになりますが、亡者が八尾の地蔵から預かった手紙を恐る恐る差し出すと…。【楊貴妃】蓬萊宮に住む楊貴妃の霊は、玄宗皇帝との愛しい日々を追憶し、舞を舞います。白居易の「長恨歌」を背景にした渺く美しい名曲です。小書「玉簾」により、宮殿は一層きらびやかな姿に姿現われます。

料金 正面6,400円/脇正面4,900円/中正面4,000円 販売開始 (電話・Web) 7月10日(月)10時/「窓口」7月11日(火)

新国立劇場 オペラ ジャコモ・プッチーニ作曲 **La Bohème** Giacomo Puccini ラ・ボエーム 6月28日(水) 19時開演・30日(金) 14時開演 7月2日(日) (※注)・5日(水)・8日(土) 14時開演 ※注:ライブ/オンデマンド配信があります。 ご案内ページはこちら!

【指揮】大野和士 【演出】栗園 淳 若き芸術家たちのロマンティックな物語「ラ・ボエーム」をお届けします。19世紀パリを再現した舞台美術と大野和士芸術監督自らの指揮でお送りするプッチーニの甘美な音楽をお楽しみください。

料金 S席24,200円/A席19,800円/B席13,200円/C席7,700円 D席4,400円/Z席(当日のみ)1,650円

好評販売中

国立劇場おきなわ 親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」 7月22日(土) 14時開演 古典の名作から「二童敵討」(玉城朝薫作)を、組踊研修修了生を中心に上演します。勝連城主のあまおへ天下取りの野望のため逆賊の汚名を着せて護佐丸を滅ぼします。生きのびた護佐丸の子、兄・鶴松と弟・亀千代は父の仇を討とうと…。本編に先立つて第一部では、「組踊の楽しみ方」と題して、組踊の歴史や鑑賞ポイントなどを楽しくご紹介します。この機会にお子さま、お孫さまとご鑑賞ください。

料金 一般2,500円、親子2,500円 ※親子チケットは、保護者の方とお子さま(3歳以上18歳以下)を組み合わせた特別料金です。 ※英語と日本語(現代語)による音声ガイドの無料貸出があります。

好評販売中

国立文楽劇場 入門展示 【文楽入門】 前期: 7月22日(土)~9月30日(土) 後期: 10月14日(土)~11月26日(日) 文楽の基本的な内容を解説する文楽の入門展示。前期は「こんなところにこんなものが!!」といった、思わず「へえ」と言いたくなるような、文楽が行われている「リユース」を中心に紹介します。文楽の世界で捨てずに大切に使い続けられている様々なものをご覧いただき、文楽をより身近に感じていただきます。 10時~18時開室、7月休室日:なし ☎06-6212-2531(代)

展示情報 伝統芸能情報館(国立劇場敷地内) 企画展「怪談物のつくりかた 役者の芸と仕掛けの世界」 開催中~8月20日(日) 歌舞伎の怪談物では、生身の人間である役者の芸と様々な仕掛けによって、幽霊や妖怪の超自然的な力が表現されます。本展では、客席からは知れない怪談物のつくりかたの一端を、国立劇場所蔵の錦絵や番付、舞台で使われる小道具など多様な資料を用いてお見せします。 10時~18時開室、7月休室日:1日 ☎03-3265-7061(直)

国立演芸場 (1階演芸資料展示室) 企画展「口絵・挿絵でたどる演芸速記本」 開催中~8月20日(日) 落語や講談などの演芸速記本の多くには口絵・挿絵が添えられています。それらは登場人物の様子を読者に印象付ける一方で、本自体に華やかさを添える役割も持っていました。本展では絵と速記本文との関係、その変遷を見ていきます。 10時~17時開室、7月休室日:1・21・24~26・28・31日 ☎03-3265-7061(直)

国立能楽堂 (1階資料展示室) 入門展「能楽入門」 開催中~8月5日(土) (能楽鑑賞教室)等で初めて来場する方でも能楽への理解を深められる入門展を行います。能のいでたち(扮装)に注目し、能の五番立に従って主な登場人物を面、装束、小道具等によって展示します。 11時~17時開室、7月休室日:1・3・10・18・24・31日 ☎03-3423-1331(代)

国立文楽劇場 入門展示 【文楽入門】 前期: 7月22日(土)~9月30日(土) 後期: 10月14日(土)~11月26日(日) 文楽の基本的な内容を解説する文楽の入門展示。前期は「こんなところにこんなものが!!」といった、思わず「へえ」と言いたくなるような、文楽が行われている「リユース」を中心に紹介します。文楽の世界で捨てずに大切に使い続けられている様々なものをご覧いただき、文楽をより身近に感じていただきます。 10時~18時開室、7月休室日:なし ☎06-6212-2531(代)

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業及び委託事業を行っています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回、公募により行います(国内映画祭等の活動、映画製作への支援については、毎年度2回募集しています)。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示しています。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額を決定します。

採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」及び「文化芸術振興費補助金による助成金交付要綱」に定める所定の手続きを経て、助成金が交付されます。

今月のTOPICSはこちら



芸術文化振興基金 ご支援(ご寄附)のお願い



芸術文化振興基金

芸術文化振興基金の概要

文化を通じた社会貢献の気運と、経済活動において文化の果たす役割に対する関心の高まりを背景に、財界関係者、芸術文化関係者有志により「芸術文化振興基金推進委員会」が結成され、資金面での積極的協力が表明されたのを受け、平成2年3月に国立劇場法の一部が改正され、芸術文化振興基金が創設されました。基金の運用益で、文化芸術団体等が行う普及・振興活動を継続的・安定的に支援しています。

芸術文化振興基金による多様な芸術文化活動への安定的・継続的支援を行うことが日本芸術文化振興会の使命だと思っております。芸術文化振興基金の趣旨にご賛同いただき、格段のご協力、ご支援をお願いいたします。



芸術文化振興基金の
ご案内ページはこちら!

お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302 (平日10時~18時)

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp

研修だより

能楽(三役)研修修了者インタビュー 矢野昌平(ワキ方福王流・第八期能楽(三役)研修修了)

―能楽との出会い・能楽(三役)研修を受験したきっかけは?―

能・狂言の舞台は祖母に連れられて何度か観ていましたが、研修同期の人達のような能・狂言の実技の経験はありませんでした。将来について模索していた時に、またま日経新聞に載っていた記事を見たのが受験のきっかけです。興味があったので、応募前に個別に国立能楽堂を訪ね、応募に至りました。知らないことを始める不安は多少ありましたが、挑戦してみようと思いました。

―実際に知らない世界に飛び込んでみて、いかがでしたか?―

まずは、現代劇のように一つの演目で何週間、何ヶ月と稽古をしない事でした。それは、能楽が長い歴史を経て体系化され洗練されてきたからだという事を、自分自身がお稽古を受けて初めて知りました。稽古の手組みや謡の詞章に至るまで、無駄を極力省き洗練されているからこそ、一度の申し合わせで舞台を成立させられるのが能です。逆に洗練されているからこそ、一つの気の緩みが一目で分かってしまうというとても難しい演劇でもあります。



矢野昌平(やのしょうへい)
第8期能楽(三役)研修修了



第30回青翔会(令和5年3月14日)
半能「石橋 大獅子」

こういって能の歴史や能楽師としての心構えを研修期間中に様々な先生方に教えていただいた事は、かけがえの無い経験でした。

―ワキ方という仕事の魅力はなんですか?―
能は古い言葉を使うので理解が難しいですが、わかるとドラマがあっただけで、演じていて満足感があるの、演じていて満足感があるの、ただしお客様に伝えることが何より大切なので、言葉をはっきり言うことを大事にしています。お客様に伝わっていると嬉しく感じます。

―現在どのような生活を送られていますか?―
土日はだいたい舞台があり、その他にも週に数回仕事が入っています。ワキツレが多かったです。この一年ではワキを四〜五回動め、学校を訪問する公演もあります。三月の青翔会で「石橋」のワキという大きな役を勤めさせていただきました。次へのステップの意味でもとても嬉しかったです。

「春のキッズフェスタ」に参加しました

五月二十八日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「春のキッズフェスタ」に参加し、能楽子ワークショップを行いました。二十名近くの子ども達が参加し、普段なかなか触れることのできない四種類の楽器(笛・小鼓・大鼓・太鼓)を体験していただきました。笛・小鼓の講師は三月に研修を修了した研修修了者が担当し、優し〜分りやすい指導で、参加者も楽しんで演奏にチャレンジしていました。また、体験後に行われた能楽師による「素囃子」演奏では、実際に演奏の難しさや魅力を感じたこともあり、息の合った大迫力の演奏に会場からは力の入った拍手が送られました。



独立行政法人日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。



未来へつなく国立劇場プロジェクト

National Theatre Reconstruction Project
— Towards a New Adventure —

国立劇場・国立演芸場、伝統芸能情報館は、再整備のため令和5年10月末に一旦閉場・閉館し、令和11年度に新施設として生まれ変わります。

❖ 初代国立劇場さよなら特別公演のご紹介

8・9月文楽公演 8月31日(木)~9月24日(日)

第一部・第二部では5月公演から続く通し狂言『菅原伝授手習鑑』の三段目と四段目を上演するほか、新劇場の豊かな前途を祈念して『寿式三番叟』を上演します。第三部では近松門左衛門の世話浄瑠璃の金字塔『曾根崎心中』をお届けします。

電話・インターネット予約開始 7月14日(金)10時
窓口販売開始 7月15日(土)10時



8月声明公演『長谷寺の声明』 8月5日(土)

初代国立劇場の声明の聴き納めは、第一回声明公演で上演された真言宗豊山派による『大般若転読会』です。また、長年国立劇場の声明公演を支えてきた迦陵頻伽聲明研究会のメンバーによる、解説・お話もご紹介します。

電話・インターネット予約開始 販売中
窓口販売開始 販売中



8月舞踊公演『舞踊名作集Ⅲ』 8月11日(金・祝)

多彩な魅力を湛える日本舞踊の名作を、重鎮・中堅から気鋭の若手まで、第一線で活躍する舞踊家の競演によりお楽しみいただく、大劇場でのシリーズ公演『舞踊名作集』の集大成で“舞い納め”となります。

電話・インターネット予約開始 販売中
窓口販売開始 販売中



お知らせ News

お茶の水女子大学と連携及び協力に関する包括協定を締結しました！

独立行政法人日本芸術文化振興会は、国立大学法人お茶の水女子大学と連携及び協力に関する包括協定を締結しました。当協定に基づき、授業『日本の伝統芸能』が開講され、今年度は能楽、文楽、歌舞伎をテーマに実施しています。4月から講座が始まり、5月には国立劇場文楽公演の舞台鑑賞及びワークショップが行われました。ワークショップでは竹本織太夫氏・鶴澤藤蔵氏による太夫・三味線の解説があり、参加の皆様にも実際に体験していただきました。参加者からは、「舞台を観て三業(太夫・三味線・人形)がびったり合っていることに感銘を受けた」「今後、日本文化について尋ねられた際に、今回の経験を活かしたい」といった感想が寄せられました。ワークショップの最後には、8・9月文楽公演で上演される『菅原伝授手習鑑 寺子屋の段』の見せ場「いろは送り」の実演があり、一同、圧倒的な世界観に引き込まれていました。



動画 Streaming

過去の公演記録映像を配信(有料・期間限定)します。

国立劇場くろごちゃんねる

演目 令和5年5月国立劇場文楽公演
(①菅原伝授手習鑑 初段 ②菅原伝授手習鑑 二段目 ③夏祭浪花鑑)
出演 人形浄瑠璃文楽座 ほか
販売期間 配信中~7月9日(日)23時59分
※視聴期間は、レンタル日から2週間です。
視聴料金 各3,000円(税込) 配信サイト MIRAIL(ミレール)

日本博2.0 Japan Cultural Expo 2.0

「日本博2.0」は、全国の博物館、美術館、劇場、芸術祭などを訪れその魅力を体感してもらうことにより、「日本の美と心」を国内外に伝える取り組みです。

笑楽座2023

東京タワーや神田明神など外国人がよく訪れる観光名所や、東京国立博物館などの文化施設で、落語・太神楽曲芸・和妻・音曲などの定期公演やワークショップを開催し、日本人が愛してきた寄席演芸に触れてもらうきっかけを作ります。そのほか、宮城県松島の舞台に落語・歴史(史跡)・食をリンクさせたインバウンド向けツアーを実施。今後日本三景を巡ります。年間を通して「笑い」や「驚き」、「美」が盛りだくさんの寄席演芸の魅力を実演で広めていきます。



ご案内ページはこちら！

「能楽を旅する」- Journey through Nohgaku -

“能楽を通じた日本の再発見”をコンセプトとし、日本が誇る最高峰の文化資源・「能楽」に様々な角度からアプローチする企画。今回は、「文化×食×歴史×自然×景観」の魅力がぎゅっと詰まった島(淡路島・佐渡島・竹生島・宮島・沖縄本島)と、質の高い能楽鑑賞を組み合わせた周遊ツアーを実施。更に、都内2か所の能楽堂で行うインバウンド向け体験・鑑賞講座やメタバースを活用した能楽紹介など、能楽の魅力の見える化を目指します。



©能楽協会



ご案内ページはこちら！

「落陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.7」

日程：8月23日 ほか
会場：東京オペラシティ コンサートホール ほか
「テクノロジーによるオーケストラの再構築」をテーマに開催してきた、メディアアーティスト落陽一氏と日本フィルハーモニー交響楽団のコラボレーションプロジェクト第7弾が開催されます。オーケストラという世界共通のフォーマットで、伝統音楽を含む日本の文化を探訪し、共に楽しむ体験を世界に向けて発信します！



©Tomoko Hidaki



ご案内ページはこちら！

ご寄附のお願い Support Us

あなたも日本の文化芸術を支える「立役者」になりませんか。

文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。
「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

お問い合わせ 基金部企画調査課
TEL 03-3265-6302 (平日10時~18時)
メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら！

くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

日本の伝統芸能を未来へつなく、国立劇場各館を応援！
様々な伝統芸能の公演や、伝承者の養成、調査研究等を支援できます。

お問い合わせ くろごちゃんファンド寄附担当
TEL 03-3265-6719 (平日10時~18時)
メール donation@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら！



【数量限定】「継続寄附」手ぬぐいプレゼントキャンペーン！

くろごちゃんファンドでは、「継続寄附」をお申込みいただいた全ての方に、国立劇場オリジナル手ぬぐいをプレゼントしております。キャンペーンは手ぬぐいが無くなり次第終了となります。この機会にぜひお申込みください！



日本芸術文化振興会ニュース 令和5年7月号

令和5年6月20日発行(毎月1回20日発行)
通巻660号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1
☎03-3265-7411(代表)
https://www.jp.jac.go.jp
印刷 株式会社丸井文社

国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1 ☎03-3265-7411(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/
国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html
国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html
新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011(代表) https://www.nmtt.jac.go.jp/
国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311(代表) https://www.nt-okinawa.or.jp/

■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。